

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	都市戦略局都市再生推進部緑政課
評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

1 指定概要

施設概要	名 称	到津の森公園・ひびき動物ワールド	施設類型	目的・機能		
			I	⑤		
	所 在 地	到津の森公園：小倉北区上到津四丁目 1 番 8 号 ひびき動物ワールド：若松区大字竹並 2 8 6 番地				
	設置目的	市民と自然を結ぶ「窓口」となること				
利用料金制		非利用料金制 ・ ☒ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制				
		インセンティブ制 有・ ☒ 無	ペナルティ制 有・ ☒ 無			
指定管理者	名 称	公益財団法人 北九州市どうぶつ公園協会				
	所 在 地	北九州市小倉北区上到津四丁目 1 番 8 号				
指定管理業務の内容		☐ 集客事業 ☐ 利用サービス事業 ☐ 市民支援事業 ☐ 動物飼育・展示施設等維持管理事業 ☐ 施設維持管理事業 ☐ 植物維持管理事業 ☐ その他（来園者管理等）				
指定期間		平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日				

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点		
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		36		
(1) 施設の設置目的の達成		35	3	21		
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。						
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。						
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
◇ 到津の森公園						
利用者数(人)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	380,000	380,000	380,000	390,000	390,000	390,000
実績	378,742	265,364	326,474	403,995	392,666	354,592
目標達成率	99.7%	69.8%	85.9%	103.6%	100.7%	90.9
* … 評価対象年度						
◇ ひびき動物ワールド						
利用者数(人)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度
目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80.000
実績	80,646	47,708	52,362	61,693	51,817	49,826
目標達成率	100.8%	59.6%	65.5%	77.1%	64.8%	62.28
* … 評価対象年度						
① 施設の安全確保・衛生管理及び動物・植栽管理については、到津の森公園、ひびき動物ワールドとも、提案された事業管理計画に基づき実施しており、適切な維持管理水準を保っている。						
② 令和6年度の年間利用者数については、到津の森公園は目標達成率90.9%、前年比9.6%減、ひびき動物ワールドは目標達成率62.28%、前年比3.8%減となったが、令和6年度は、酷暑など悪天候が利用者数の伸びに影響した。						
※福岡県熱中症警戒アラート発表回数（環境省 HP）						

(R6年：57回、R5年：28回、R4年：30回、R3年：23回)

集客への取り組みについては、不在であったキリンやメスライオンの受入れ、子ども汽車（遊戯施設）車両のリニューアル等の魅力向上への環境整備、集客イベントでは、到津あじさいフェアや西日本工業大学と共同してのライトアップなど初めての試みもみられた。

その他、夏休みの土日とお盆期間中の夜の動物園～itozu Yoru Zoo（38,474人）やゴールデンウィークの営業時間延長（19,278人）などは行楽シーズンや夏休み期間の機を逃さず、効果的な集客への取り組みであった。

近年、熱中症アラートや天候不順の影響もあり、特に夏季における日中の来園は避けられたが、営業時間を21時まで延長した「ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園」（再掲）などは、それらをカバーする秀逸な取組であった。

また、ひびき動物ワールドでは、飼育員による「動物ガイド」を、毎週土・日に開催し、集客に努めた。

到津の森公園・ひびき動物ワールドとも、動物だけに限らず、公園の更なる魅力向上のため、園内に桜やミモザ、あじさい、シンボルツリーなどの植樹により緑を増やし、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるよう取り組んだ。

- ③ 到津の森公園は、集客のみでなく、市民と自然を結ぶ「窓口」として、森や動物とのふれあいイベントも年間を通じて積極的に開催し、施設のコンセプトの一つである自然環境教育施設としての役割も重要である。

（講座体験型事業）

到津子ども自然塾やその他の自然教育イベント等、動物の生態や自然環境などの理解を深める内容のプログラムを多数実施。

（自然観察型事業）

里山に生息する生き物を観察する春・夏・秋の到津の森調査隊、冬の野鳥観察会などの事業を実施。

（地域還元型教育事業）

博物館・獣医学実習の受入れや北九州市立大学やその他地域講座等への職員派遣。

- ④ 到津の森公園とひびき動物ワールドとの連携では、到津の森公園Zoo shopに「ひびき動物ワールドコーナー」を設置し、商品展開を図った。また、

- ・ 到津の森公園の年間パスポートによるひびき動物ワールドの入場無料
- ・ 両園でのイベント告知やポスター掲示

など施設相互の連携に努めた。

しかしながら、ひびき動物ワールドについては、主にカンガルー等有袋類の飼育・展示方法についての課題（カンガルー等と身近にふれあえる魅力的な展示への施設等の改善等）に加え、到津の森公園との距離的制約、隣接するグリーンパークと管理者が異なることによる連携の難しさなど、指定管理者の努力のみでは、集客に結び付きにくい現状があった。

- ⑤ 営業・広報活動

- ・ 北九州市内はもとより、福岡市、下関市等の各幼稚園、保育園・保育所、小学校へのポスター・チラシ配布

- ・鳥栖市、久留米市、大分県北西部、山口県東部、佐賀県、熊本県で団体旅行を取り扱う旅行会社を中心に積極的な集客活動
- ・北九州モノレール駅でのポスター掲出、北九州空港でのパネル展開催
- ・近隣施設や北九州観光コンベンション協会と共同で広島方面の旅行代理店へのセールス
- ・北九州市教職員互助会ホームページへの広告掲載を行い学校施設など春の遠足等での利用の呼び掛け
- ・北九州市が行ったインバウンド向けウェルカム北九州キャンペーンに対象施設として参加
- ・シニア団体、施設（老人クラブ、老人介護施設等）へ春イベントのチラシ及び団体利用案内を送付
- ・タウン誌、旅行誌、フリーペーパー、新聞タブロイド紙、企業団体機関誌等に掲載依頼
- ・SNSを最大限に活用した動物の近況やイベント情報などをタイムリーに発信
- ・マスコミへのイベントやトピックスなどの情報提供

などを行なった。

（２）利用者の満足度

- | | | | |
|--|----|---|----|
| ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | 15 | 5 | 15 |
| ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 | | | |
| ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 | | | |
| ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。 | | | |
| ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 | | | |

〔評価の理由、要因・原因分析〕

■ 利用者の満足度

◇ 到津の森公園

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度
非常に満足・満足	97.8%	97.6%	98.1%	98.1%	99.0%	99.0
非常に不満・不満	2.2%	2.4%	1.9%	1.9%	1.0%	1.0
回答数	2,359	1,988	2,226	2,266	2,343	2,435

* … 評価対象年度

◇ ひびき動物ワールド

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度
--	-------	-------	-------	-------	------	------

非常に満足・満足	98.2%	97.1%	99.1%	99.3%	98.14%	99.43
非常に不満・不満	1.8%	2.9%	0.9%	0.7%	1.86%	0.57
回答数	504	171	216	430	323	351

* … 評価対象年度

■ 再来園の希望

◇ 到津の森公園

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度
また来たい	98.8%	99.1%	99.3%	98.7%	99.0%	99.1
また来たいと思わない	1.2%	0.9%	0.7%	1.3%	1.0%	1.0
回答数	2,331	1,983	2,223	2,249	2,311	2,414

* … 評価対象年度

◇ ひびき動物ワールド

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6年度
また来たい	99.0%	98.2%	100.0%	99.5%	99.69	99.71
また来たいと思わない	1.0%	1.8%	0.0%	0.5%	0.31	0.29
回答	504	171	216	412	323	351

* … 評価対象年度

■ 従業員の対応（接遇）

◇ 到津の森公園

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度
非常に満足・満足	97.0%	99.0%	99.0%	98.0%	99.0%	99.0
非常に不満・不満	3.0%	1.0%	1.0%	2.0%	1.0%	1.0
回答数	2,293	1,958	2,180	2,233	2,305	2,386

* … 評価対象年度

◇ ひびき動物ワールド

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度
非常に満足・満足	99.0%	98.0%	100%	100%	100%	99.72
非常に不満・不満	1.0%	2.0%	0%	0%	0%	0.28
回答数	495	170	210	440	323	351

* … 評価対象年度

① 利用者アンケートの結果、施設の満足度について「非常に満足・満足」との回答、再来の希望について「また来たい」との回答が、到津の森公園・ひびき動物ワールドとも99%以上であり、利用者の満足度は非常に高い。 ② 利用者の意見や要望は、各施設においてアンケート箱等により回収している。また、大きなイベントや団体向けには別途アンケートを行うほか、年2回程度強化月間を設け、積極的に意見を集約するように努めている。 ③ 苦情に対しては、迅速に報告、処理がなされ、協会内だけではなく、委託業者とも情報共有を行い、同様の事例が発生しないように努めている。また、定期的に職員、委託業者を対象に接遇研修を行っており、アンケートにおける従業員の対応（接遇）についても、利用者の満足度は非常に高い。 ④ 園の情報提供については、市政だより、情報誌等の媒体のほか、ホームページなどで発信している。また、スタッフによるブログの掲載やSNSなどでイベントや動植物の情報を毎日更新するなど、タイムリーな情報の提供に努めている。 園内においては、当日のイベント、展示動物、遊具の運行状況等の情報を南北ゲートの看板に掲示するとともに、園内放送で随時案内している。また、来園者に園内を楽しんでもらえるよう、動物を熟知する飼育員が展示動物の生態、特徴等を紹介する手作り看板を工夫して作成し、わくわく感を演出した。 ⑤ サービスの維持向上の取組みとして、季節のフレーバーを使用した軽飲食メニューの提供やオリジナル商品の開発（ぬいぐるみ等）の提供を行った。 また、子供向け到津オリジナル弁当を含め、土日祝日には弁当を販売も実施するなど、リピーターの増加を図る利用者目線のきめ細かな取組みが行われた。
--

2 効率性の向上等に関する取組み		3 0		2 0														
(1) 経費の低減等		2 0	4	1 6														
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。																		
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。																		
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。																		
【経費推移表の注意事項】 「指定管理料」は、市の総支出額を反映させるため、令和元年度、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う「利用料金」、令和4年度はお出かけ応援事業実施に伴う「利用料金」、「かかり増し経費」及び光熱費高騰に伴う「運営経費」に係る市からの損失補填額（以下「市損失補填額」という。）を含んで記載した。 ◇ 到津の森公園 <table><tr><th>指定管理料(千円)</th><th>R1 年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					指定管理料(千円)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度							
指定管理料(千円)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度												

予 算	124,285	164,498	131,474	142,358	122,097	125,897
決 算	124,285	164,498	131,474	142,358	122,097	125,897

* … 評価対象年度

* 市損失補填額（元年度8, 875千円、2年度54,707千円、3年度15,826千円、4年度26,716千円）

総事業費(千円)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予 算	489,772	438,535	477,490	486,498	394,844	384,624
決 算	440,050	388,936	439,162	380,631	367,605	359,621

* … 評価対象年度（令和6年度 予算比6.5%減 前年比2.2%減）

うち光熱水費 (千円)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予 算	25,943	26,896	26,866	25,482	25,256	26,150
決 算	24,154	22,018	23,474	23,838	19,210	20,686

* … 評価対象年度

◇ ひびき動物ワールド

指定管理料(千円)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予 算	39,237	42,939	42,115	39,325	39,245	39,245
決 算	39,237	42,939	42,115	39,325	39,245	39,245

* … 評価対象年度

* 市損失補填額（元年度634千円、2年度3,696千円、3年度2,872千円）

総事業費(千円)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予 算	66,229	65,083	67,500	63,765	69,179	74,854
決 算	66,477	61,623	61,052	59,865	63,850	63,255

* … 評価対象年度（令和6年度 予算比15.5%減 前年比0.9%減）

うち光熱水費 (千円)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予 算	1,321	1,350	1,354	1,354	1,494	1,974
決 算	1,205	1,318	1,615	1,765	1,718	1,522

* … 評価対象年度

① 経費低減を図る取組みとして、企業から動物のえさ（野菜や果物など）の物的支援等をうけ、経費低減に努めた。

ひびき動物ワールドでは、カンガルー等の飼育動物の適正な飼育頭数を目指すため、他園への貸し出しなどにより、適正な飼育頭数に近づける取組みにより、経費面の低

減に繋げている。

- ② 委託業者とは定期的に情報交換会を実施し、園の方針や今後の予定などを確認し情報共有を行っている。また、業者から毎日、作業工程や日報を提出させ、適切な指示、監督を行ったほか、要望・改善については業者とコミュニケーションを取りながら務めた。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

1 0

2

4

[評価の理由、要因・原因分析]

◇ 到津の森公園

収 入(千円)		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5年度	R6年度
利用料金等 収入	予 算	271,488	271,344	203,539	206,898	211,818	211,237
	決 算	253,714	186,655	173,810	188,096	192,968	178,815
自主事業 収入	予 算	102,874	57,400	158,303	163,957	167,728	167,644
	決 算	94,005	32,983	118,229	142,598	137,541	142,616

* … 評価対象年度

* 条例の一部改正により令和3年度から利用料金収入であった遊具利用料及び騎乗料が自主事業収入に移行

◇ ひびき動物ワールド

収 入(千円)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用料金 等収入	予 算	13,040	12,905	11,808	12,546	13,341	13,116
	決 算	11,755	7,091	8,138	10,107	8,351	8,874
自主事業 収入	予 算	14,586	12,935	16,449	11,975	16,593	127
	決 算	47	33	92	144	205	316

* … 評価対象年度

* R6年度の自主事業収入額は、過去の実績を元に実態にあった数字を計上した。

令和6年度収入の予算（目標）に対する達成率は、到津の森公園、ひびき動物ワールドを合わせて、利用料金収入が83.7%、自主事業収入が85.2%となった。			
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		14
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	10	4	8
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。			
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
① 北九州市どうぶつ公園協会は、平成26年度より到津の森公園とひびき動物ワールドの管理運営に特化した団体として発足した。職員のローテーション勤務や繁忙期と閑散期、日祝日と平日の職員数の調整など合理的な人員配置の他、ゲートの受付、清掃、遊戯施設の運行业務を専門事業者に再委託し、組織のスリム化を図っている。			
② 職員の資質・能力向上を図る取組みとして、飼育スタッフを対象に、動物飼育展示の専門的技術・能力養成研修を定期的実施している。 また、協会職員だけではなく委託先の職員を含めた園内に従事する職員全てを対象に、外部講師による接遇研修を行うとともに、園内での実例を踏まえた対応策を職員に周知・共有し、同様の事例が発生しないよう対策を講じている。			
③ 到津の森公園の市民ボランティア「森の仲間たち」が、動物用のエサ切り、植栽活動などの活動を行っており、園の運営に欠かせない団体となっている。また、到津の森公園の支援団体「到津の森からの会」が、園のPRや動物サポーターの募集活動などの支援を行うなど、これら団体と連携、協働した運営を行っている。 市内小中学校等との連携、大学や研究機関との共同研究などの取組みの他、学生の職場体験、博物館・獣医学実習の受け入れや、北九州市立大学、その他地域講座等への職員派遣を行っている。			
④障害のある子どもたちを閉園後に招待する「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を開催、約1400人が参加。地元企業ボランティアの参加を多数促した。			
⑤西鉄バス北九州と筑豊電鉄と共同で市内のバス電車の1日フリーパスと到津の森公園の入園券がセットとなった「到津の森公園きっぷ」の販売を8月より開始した。			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	6
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。			
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由、要因・原因分析】 ① 個人情報については、個人情報保護法、北九州市どうぶつ公園協会個人情報保護規程に基づき、適正な取扱を行っている。 ② 利用者の誰もが気軽に施設を利用し、イベントに参加できるよう、点字ブロックの破損や剥がれなど、バリアフリーに関する補修を優先的に行っている。 ③ 人数制限のあるイベントについては、利用者からの批判を受けないよう、先着順や厳正な抽選による参加者の決定を行い、公平・公正な取扱を行っている。 ④ 施設の管理運営については、経理に関するモニタリングを行い、不適切な点がないことを確認している。 ⑤ 日常の安全対策については、施設・設備の保守点検を定期的に行い、不具合の早期発見に努め、安全面に配慮した補修を行っている。特に遊具については、定期的に委託業者との協議を行い、点検している。また、園内飲食物販施設の食品については、常に管理・保管状態などの衛生管理に気を配っている。 ⑥⑦ 園内パトロールや巡視点検の徹底、警察等関係機関との連携を図り、防犯に努めている。動物逃亡時の対応、感染症対策、台風・大雨の対策など、マニュアルに従い適切な対応を行う体制がとられている。 感染症対策においては、動物を飼育する施設として、協会独自のマニュアルを作成し、感染症予防や感染症発生時の対策を徹底している。この取組みは先進事例として他の動物園の参考となっている。			

【総合評価】

合計得点	70	評価ランク	B
【評価の理由】 『1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み』の「（1）施設の設置目的の達成」では、施設の安全確保・衛生管理及び動物・植栽管理など、到津の森公園、ひびき動物ワールドとも、提案された事業管理計画に基づき実施しており、適切な維持管理水準を保っている。 利用者増加の取り組みとして、不在であったキリンやメスライオンの受入れや子ども汽車（遊戯施設）車両のリニューアル等の魅力向上への環境整備、集客イベントでは、到津あじさいフェアや西日本工業大学と共同してのライトアップなど初めての試みなど積極的な取り組みもみられたが、令和6年度の年間利用者数については、到津の森公園は目標達成率90.9%、前年比9.6%減、ひびき動物ワールドは目標達成率62.28%、前年比3.4%減となったが、令和6年度は、特に酷暑による外出控えなどが、夏休み期間中の利用者数の伸びに影響した。 到津の森公園は、集客や賑わいづくりのみに注力するのではなく、市民と自然を結ぶ			

「窓口」として、施設のコンセプトの一つである自然環境教育施設としての役割を十分に果たしている。

（講座体験型事業）

到津子ども自然塾やその他の自然教育イベント等、動物の生態や自然環境などの理解を深める内容のプログラムを多数実施。

（自然観察型事業）

里山に生息する生き物を観察する春・夏・秋の到津の森調査隊、冬の野鳥観察会などの事業を実施。

（地域還元型教育事業）

博物館・獣医学実習の受入れや北九州市立大学やその他地域講座等への職員派遣。

「（２）利用者の満足度」では、利用者アンケートの結果、「施設の満足度」と「従業員の対応（接遇）」についての「非常に満足・満足」との回答、再来の希望についての「また来たい」、との回答が、到津の森公園・ひびき動物ワールドとも９９％を超えており、利用者の満足度は非常に高い。

『２ 効率性の向上等に関する取組み』については、「（１）経費の低減等」では、到津の森公園では、動物の糞のリサイクル（堆肥化）や園内等でのエサの栽培、剪定枝の一部の動物のエサとしての活用など、また、ひびき動物ワールドのカンガルー等の飼育動物の適正な飼育頭数に近づける取組みなどが、経費の低減に繋がっている。

「（２）収入の増加」では、令和６年度収入の予算（目標）に対する達成率は、到津の森公園、ひびき動物ワールドを合わせて、利用料金収入が８３．７％、自主事業収入が８５．２％となった。

『３ 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み』については、職員のローテーション勤務や繁忙期と閑散期、日祝日と平日の職員数の調整など合理的な人員配置を実施する他、ゲートの受付、清掃、遊戯施設の運営業務を専門の事業者へ再委託することにより、組織のスリム化を図っている。

職員の資質・能力向上を図る取組みとして、飼育スタッフへの動物飼育展示等の専門的技術・能力を養成するための研修を定期的実施している。

到津の森公園の市民ボランティア「森の仲間たち」が、動物用のエサ切り、植栽活動などの活動を行っており、園の運営に欠かせない団体となっている。また、到津の森公園の支援団体「到津の森ちからの会」が、園のＰＲや動物サポーターの募集活動などの支援を行うなど、これら団体と連携、協働した運営を行っている。

北九州市を代表する集客施設としての利用者の安全確保・衛生管理や、動物・植栽の管理、接遇研修の実施など、利用者のサービスの維持・向上に繋がる取組みを積極的に行い、市民からも高い評価を得ている。

〔北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見〕

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)